



【テーマ聖句】

「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのために命を失う者は、それを救うのである。」  
(ルカによる福音書 9 章 23、24 節)

2021 年 1 月 11 日(月)

長続きするリバイバルのための 2 つの秘訣

イエスは、霊的に生まれ変わりたい肉的クリスチャンに解決方法をお示しになりました。彼は言いました。「わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。」(ヨハネによる福音書 15 章 4 節) 言い換えるなら、「わたしにとどまりなさい」ということです。(同 新改訳) しかし、具体的にどのようにしたらよいのでしょうか？

エレン・G・ホワイトは、キリストにとどまるという意味は、次のようなことであると言っています。

- 1、「そのみ霊をたえず受けること」
- 2、「キリストの奉仕に無条件に服従する生活」(『各時代の希望』下巻 164 ページ)

\*強調は著者によるもの

この 2 つの神の解決は、リバイバルだけではなく、幸福なクリスチャン生活にも導くものです。どうしてでしょう？ キリストはおっしゃいました。「これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。」(ヨハネによる福音書 15 章 11 節) この 2 つのステップを踏むことによって、私たちは「あなたがたの内におられるキリスト」、つまり毎日の生活の中でキリストのご臨在を経験するからです。言い換えれば、キリストの栄光と希望を分かち合う、という意味です。(コロサイの信徒への手紙 1 章 27 節)

極めて重要な点

私たちは毎日、聖霊の注ぎを信仰によって受け取るように願い求めます。そして日々、私たちの持っているものを、私たち自身を、神に委ねます。そうするならば主は、喜びで満たしてください！

第 1 日目に、私たちは聖霊を求めることがどれほど重要かということを学びました。そして第 3 日目には、神に委ねることの必要性について学びました。今日は、これらの 2 つのステップをもう一つ別の側面から見てみましょう。それは、求め、委ねることが、**毎日**であることの必然性についてです。

なぜ私たちは、毎日聖霊を求めるべきなのか？

何年も前のことです。私は、キリストに回心したギャングの物語を読みました。彼は、偽証、窃盗、その他あらゆる犯罪を真心から主に告白し、その結果、素晴らしい神のご介入を経験したのでした。神が、彼の人生を完全に造り変えてしまったのです。

この物語は、私に強い印象を与えました。私は自問自答しました。**私は、うまくやっているように思えるけれど、彼のようなことを経験したことがない。**私は祈りました。「主よ、私も意識している罪と、あなたが示してくださる罪をすべて告白したいと思います。そして、毎朝 1 時間早く起きて祈り、聖書を読みます。あなたが、私の人生にも介入してくださるかどうかを見たいのです。」

主の御名はほむべきかな。主は私の人生にも介入してくださいました！ 朝早く起きて功績を積んだからではありません。私が毎日、聖霊のいらっしゃるところに自分を置いた結果です。地上において、イエスが毎日、新鮮な聖霊のバプテスマを求めていたとするならば、この力は、私たちにとってどれほど必要でしょうか？ パウロは、内なる人について「日々新たにされていきます」と書いています。(コリントの信徒への手紙 2・4 章 16 節) さらに彼は、神の民が「その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて」くださる経験をするようにと祈りました。(エフェソの信徒への手紙 3 章 16 節) エレン・G・ホワイトは、この希望について次のように言っています。「両親がその子供たちによい贈り物を与える時

よりももっと気持ちよく、主は人々に聖霊を与えてくださる。み霊のバプテスマを日ごとに受けるためには、働き人がめいめい神に願いをささげなければならない。」(『患難から栄光へ』上巻 46 ページ) 私たちの「内なる人」は、毎日ケアされる必要があるのです。

### なぜ私たちは、毎日イエスに自分を委ねるべきなのか？

弟子としての犠牲的な性質について、弟子たちがよく理解できるように、イエスは次のようにお語りになりました。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」(ルカによる福音書 9 章 23 節) 自己を否定するとは、毎日、自分の生活をイエスの支配に委ねるという意味です。使徒パウロは、このことを次のように説明しました。「わたしは日々死んでいます。」(コリントの信徒への手紙 1・15 章 31 節)

人間である私たちは、「わたしは弱いときにこそ強い」ということが信じられずに、委ねることに強く抵抗します。(コリントの信徒への手紙 2・12 章 10 節) 私たちは、生まれたときに肉体的な命を受けましたが、健康を維持するために、毎日食事を摂っています。同様に、生まれ変わったときに霊的な命を受け取りましたが、霊的な食物は毎日必要です。食べなければ死んでしまうからです。食物を摂らなくても済むように、あらかじめ翌日の分もキリストに委ねる、などということはできません。エレン・G・ホワイトは次のように書きました。「回心の時の献身が完全であっても、日々新たにされなければ、それは私たちに効力は全くない。」(『父なる神の配慮』 144 ページ 英文)

### どのように始めるか？

日々聖霊を受け、イエスに委ねるための最善で唯一の方法は、毎日神との個人的な礼拝を持つことです。私たちが毎朝、神を選んで一日をスタートしないならば、私たちの計画と約束とはまるで「砂で作ったロープ」(『キリストへの道 改訂第 3 版文庫判』 65 ページ) のようです。今日、自分の最もよい時間をキリストと一緒に過ごすために割く決心がありますか？ 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」(マタイによる福音書 6 章 33 節)

## 【神の御言葉によって祈る】

### 最善で唯一の關係に留まりましょう

「わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない。……あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。」(ヨハネによる福音書 15 章 4、7 節)

主よ、私たちが日々あなたに委ねる時、私たちの信頼が成長することを感謝します。聖霊をよりよく知るために、私たちを導いてください。あなたの思いを、私たちの思いにしてください。

### 毎日、最善の關係の中で生きましょう

「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」(ルカによる福音書 9 章 23 節)

「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」(マタイによる福音書 6 章 33 節)

主よ、すべてにおいてあなたを第一にすることを教えてください。毎朝、あなたとどのように一日を始めたらよいかを教えてください。

## 【更なる祈りの提案】

感謝と讃美： 具体的な祝福を感謝し、神の憐れみのゆえに讃美をささげましょう。

告白： 個人的な告白のために時間を取り、神の赦しのゆえに感謝をささげましょう。

願い： 私のチャレンジと決心のために、神様が知恵を与えてくださるよう祈りましょう。

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神様が祝福してくださるよう祈りましょう。

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈りましょう。

静かに耳を傾け、

応答しましょう： 神のみ声を聞くために静かな時間を過ごし、讃美と歌で応答しましょう。